



平成19年3月期 第3四半期業績の概況 (連結)

平成 19年 2月 5日

上場会社名 エス・バイ・エル株式会社 (コード番号 : 1919 東証・大証第1部)
(URL <http://www.sxl.co.jp/>)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 松川 敏夫
問合せ先責任者 責任者役職名 取締役管理本部長 氏名 澤井 幹人 TEL (06) 6315 - 1131

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

2. 平成 19年 3月期第3四半期業績の概況 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 12月 31日)

(1) 連結売上高

* ご参考 : 単独売上高

	(百万円未満切捨)	
	百万円	%
19年3月期第3四半期	50,504	5.8
18年3月期第3四半期	53,621	10.4
(参考)18年3月期	82,527	

	(百万円未満切捨)	
	百万円	%
19年3月期第3四半期	40,173	7.0
18年3月期第3四半期	43,201	11.8
(参考)18年3月期	67,413	

[売上高に関する補足説明]

第3四半期のが国経済は、企業収益の改善を背景に設備投資の増加や雇用環境の改善等が進み緩やかな回復基調で推移しましたが、原材料価格等の高騰もあり事業環境の先行きに不透明感が残りました。

住宅市場におきましては、貸家については比較的堅調に推移しましたが、当社が主力とする持家については建替層を中心とした二次取得者の需要に大きな改善が見られず、本格的な回復には至りませんでした。

このような状況下、当社グループの売上高は 50,504百万円 (前年同期比5.8%減) となりました。
なお、単独受注残高の期初比増加額は7,021百万円 (平成18年3月末24,525百万円、平成18年12月末31,547百万円) となっており、前年同期間比2,339百万円増加しております。

当社グループの売上高の90%以上を占める住宅事業において、顧客への住宅の引渡しは、例年第2四半期及び第4四半期、特に9月と3月に集中するなど、季節的な変動傾向が強く、第1四半期及び第3四半期の売上高は、他の四半期に比べて相対的に低くなっております。

* ご参考 : 単独受注状況

	(百万円未満切捨)					
	受注高		受注残高		期初比受注残高増加額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	47,195	1.4	31,547	11.4	7,021	50.0
18年3月期第3四半期	47,883	5.0	28,331	0.5	4,681	232.5
(参考)18年3月期	68,289		24,525		-	

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 平成19年3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	75,500	200	100

* ご参考 : 平成19年3月期の単独業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	63,500	800	800

業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。